

## 小学校第2学年 音楽科学習指導案

学習指導者 三豊市立比地大小学校 奥田 麻里子

### 1 題材名 「おまつりの音楽『比地大っ子まつりを開こう』」

(教材名 村まつり／日本のたいこ／おまつりの音楽をつくろう)

### 2 題材について

夏休み中に各地で行われる夏まつりや、収穫祭として行われる秋まつりなど、子どもたちはおまつりが大好きである。本学級でも、生活科で栽培した野菜の収穫をみんなで祝いする収穫祭「比地大っ子まつり」を開こうと計画している。その際、自分たちの思いをもってつくったおまつりの音楽で「比地大っ子まつり」を盛り上げようという目標に向けて、本題材を設定した。

第1次の「村まつり」では、おまつりの気分を感じ取り、太鼓や笛のオノマトペを生き生きと表現しながら楽しく歌唱させたい。第2次の「日本のたいこ」4曲、地域に伝わるおまつりの鑑賞では、様々な太鼓のリズムに出会わせ、おまつりの音楽は同じリズムの反復を用いながらつくられていることに気付かせる。映像資料を活用することで、太鼓の大きさや種類、打つ人数、打ち方などの違いによる、表現の広がりや面白さにも気付かせたい。また、様々なおまつりの音楽に触れる鑑賞活動を通して、自分がつくりたいおまつりのイメージをもてるようにする。

第3次では、第2次までの学習やこれまでのリズムに関する学習をもとに、音楽づくりを行う。2拍のいろいろなリズムを、反復を用いながら組み合わせ、速度や音色といった要素も自己選択・自己決定させながら、自分のイメージや思いに合ったおまつりの音楽をつくる。そして、一人ひとりがつくったリズムをかけ声でつなげたり、最初や最後にもかけ声を入れたりして、おまつりの音楽をまとめていく。

### 3 題材のねらい

・太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、自分の思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みや要素を用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。[知・技]

・リズム、拍、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりする。[思・判・表]

・太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。[態度]

### 4 題材の指導計画（総時数5時間【本時4／5】）

第1次：「村まつり」の音楽の中のまつりらしさを感じながら聴いたり歌ったりする。（1時間）

第2次：「日本のたいこ」4曲、地域に伝わるおまつりの鑑賞を通して、おまつりのリズムを見付けたり、太鼓の大きさや種類、打ち方の違う様々なおまつりの音楽の面白さを感じたりする。（2時間）

第3次：おまつりらしいと感じるリズムをつくって演奏し、できたりリズムにかけ声を入れて発表し合う。

（2時間 本時1／2時間）

### 5 授業の見どころ

本校では、教科の指導と生徒指導の一体化を目指して、生徒指導の実践上の視点から授業づくりを見直している。今年度は、特に「自己決定の場の提供」に重点を置き、授業の中で自己選択や自己決定を促す場のさらなる充実を図ることで、児童の主体性を高めていきたいと考えている。本時では、反復を用いながらリズムカードを選んで組み合わせ、おまつりみたいと感じる自分のリズムを楽しみながらつくれるようにする。その過程で、速度も自己選択・自己決定させながら、自分のイメージや思いに合ったおまつりの音楽づくりを目指す。

6 本時の学習指導

(1) 目標

リズムカードを組み合わせ、速度も選択して、おまつりみたいと感じるリズムをつくることができる。

(2) 学習指導過程

学習活動と児童の意識	教師の指導 (◆評価)
<p>1 常時活動 (リズム遊び) をする。</p> <p>・今まで勉強してきたリズム、いろいろあったね。</p> <p>・今日はどんな速さで真似っこやリレーをしてみようかな。</p> <p>・どのリズムの組み合わせが、おまつりみたいかな。</p> <p>・「元気なおまつり」のリズムにするには、どのカードをつかうとよいかな。</p>	<p>・前時までに練習したリズムカードを、真似っこ遊びやリレーをして振り返り、その組み合わせでおまつりみたいなリズムをつくるというめあてにつなげて、意欲を高める。</p> <p>・前時までに、つくりたいおまつりのリズムのイメージを考えさせておき、決定していたものを想起させる。</p>
<p>④ 組み合わせを考えながら、おまつりみたいなリズムをつくろう。</p>	
<p><b>授業づくりのポイント</b></p> <p>2 リズムカードを組み合わせ、おまつりみたいなリズムを作る。</p> <p>(1) 自分でリズムをつくる。</p> <p>・「ドンドコ」のリズムがおまつりっぽくて好きだよ。</p> <p>・同じリズムを始めに2回繰り返してみよう。</p> <p>・同じリズムでサンドイッチしてみたら、どんな感じになるかな。</p> <p>(2) グループで、つくったリズムを聴き合い、自分のリズムを見直す。</p> <p>・おまつりのイメージは違うけど、「ドンドコ」でサンドイッチしているのが、Aさんと同じだったよ。</p> <p>・Bさんのリズムは「ドコドコ」を使っていて、「にぎやかなおまつり」にぴったりだったな。わたしも、リズムを見直してみよう。</p> <p>(3) イメージに近づけるために、速度についても選択する。</p> <p>・私の「楽しいおまつり」のイメージには、今の速さ(♩=96)がぴったりだよ。</p> <p>・「かっこいいおまつり」にするために、もう少し速く(♩=108)打ってみようかな。</p>	<p>・タブレットを利用して、リズムカードの操作を行わせ、つくったリズムの記録・変更が簡単にできるようにする。</p> <p>・常に口唱歌しながらリズムづくりをすること、リズムに繰り返しを使うことを助言し、おまつりらしさを感じながらリズムづくりができるようにする。</p> <p>・手作りマイばちでマイ太鼓を叩きながらリズムづくりをすることで、よりおまつりらしさを感じることができるようになる。</p> <p>・友だちのつくったリズムのよいところを参考にしながら、自分のリズムを見直し、作り直してもよいことを伝える。</p> <p>◆<b>思</b>リズム、拍、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、反復の仕方を工夫し、どのように音を音楽にしているかについて思いをもっている。</p> <p>[前時までの記録、行動観察、発言内容]</p> <p>・つくりたいおまつりのリズムのイメージに近づけるため、(2)でつくったリズムを演奏する速度(♩=84、96、108)を選択するよう助言する。</p> <p>・速度が変わることで、音楽の感じにどのような変化があるのか、これまでの学習や教師の実演をもとに、感じたことを発表させる。</p>
<p>3 つくったリズムを紹介し合い、感想を伝え合う。</p> <p>・「(ス)コドン」のリズムを使うと、「かっこいいおまつり」の感じがするね。</p> <p>・「ドコドコ」を使っている友だちが多いけど、速く打った方が「元気なおまつり」っていう感じがしたよ。</p> <p>・太鼓を選んだり、太鼓のふちを叩いたりすると、音色も変わって面白そうだな。</p> <p>4 振り返りをする。</p>	<p>・どのようなイメージをもっておまつりのリズムを作ったのかを紹介してから演奏する。</p> <p>・あまり使われていないリズムを使っている例や、違うイメージなのに同じリズムを使っている例などを紹介し、イメージに合わせて音楽づくりをすることの面白さ、楽しさを共有する。</p> <p>・自分の気付き・学びや、友だちからの学び・友だちのよさについて振り返らせる。</p> <p>・次時は、グループでリズムをつなげて、間をかけ声を入れていくことを伝え、次時への意欲を高める。</p>

